

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	01-04-02-10
事務事業名	非常備消防車両管理事業		根拠法令・要綱等 消防組織法
事業開始年度	昭和46年度から		問合せ先 担当課(室) 総務課
大項目 基本目標	安全で快適に暮らせるまちづくり	問合せ先 職・氏名	消防防災係長 大西武志
中項目 基本施策	安全で安心して暮らせるまちづくり	問合せ先 電話	64-1809
小項目 施策	消防・防災		

事業の実施	
対象 (誰・何に対して)	消防団
目的 (何のために)	消防団の消防車両を維持、管理することにより、災害時での円滑な団活動を図る。
行政活動 (どのような方法で)	消防車両の維持管理費
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	招集時の車両不具合の確認

事業の実績				
実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
消防車両台数	台	51	57	57
直接事業費	千円	6,359	5,395	6,634
人件費	千円	1,750	1,562	511
事業費計		8,109	6,957	7,145
国県支出金				
受益者負担				
市一般財源		8,109	6,957	7,145
必要人員	人	0.30	0.24	0.08
結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
消防車両	説明			
結果指標量	台	51	57	57
対前年比	%	-	111.8%	100.0%
活動コスト	円	8,109,000	6,957,000	7,145,000
単位当たりコスト	円	159,000	122,053	125,351
結果指標量	説明			
対前年比	%	-		
活動コスト	円			
単位当たりコスト	円			

事業の成果			
成果指標名	招集時の車両不具合率	式又は説明	招集時に車両不具合の申し出車両数 ÷ 消防車両数
成果指標量	17年度 0.00	18年度 0.00	19年度 0.00
対前年比	-	-	-
到達目標値	0	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えて目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)					
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A-E>	B				
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	課題認識					
対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	災害への迅速な対応を行うための消防車両の適切な維持管理は妥当である。					
	行政活動			<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない			
事業の意図する成果	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない			効率性評価<A-E>	C		
	市民ニーズ			<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である	課題認識		
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である			車検受け車両が年度毎に違うので、コストのバラツキがある。人件費の減は、事業量の実測による。			
	コスト					<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	
効率性の評価						<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	有効性評価<A-E>
	手 段					<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	課題認識
職 場						<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	達成できているので、このまま維持する。
	目的達成度					<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	
有効性の評価		<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上の見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	市民参画度				
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている					

平成20年度の状況		説明	消防車両の維持管理経費
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で真正・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量 29	結果指標量	0.00
成果指標量		成果指標量	

総合評価		評価区分 <A-E>	C
消防車両の維持管理を行う上での必要最低限の経費であるが、消防団の見直し(部の統合等)を考えることも必要である。			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成20年度で真正・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果